（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社マルハニチロAQUA　奄美事業所　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・グループ理念および行動指針を明文化のうえ掲示し、社内研修等の場で共有している								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・各種法令が改定される都度、本社と協働で社内マニュアルを作成し、従業員へ周知している ・社内研修を通して従業員への啓発を行っている																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各種認証（ASC、EU HACCP等）チームを編成し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響の把握に努めている																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		・島内外の関係者（顧客・投資家・教育機関等）の来場を受入れ、対話・情報交換による双方向コミュニケーションを行っている ・地元漁協や役場へ、定期的に自社への評価・要望の聞き取りを行っている																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	・地元役場と協業で、周辺海域へのマングローブ植栽を定期的に実施することで、CO_2の吸収促進および生物多様性改善へ貢献している																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	・大規模災害を想定した独自のBCPを策定し、火災・地震（津波）を想定した訓練や、作業員への連絡体制の見直しを実施している									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・年間目標を会社と各従業員それぞれで策定したうえ、従業員への指導・育成および評価を実施している								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		・当該内容が含まれているグループ行動指針の掲示、社内研修（理念研修）で周知している										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・本社知財担当部署と協業し、自社知財の保護と他社知財の侵害防止に取り組んでいる								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報を取り扱う部署の担当者への教育をはじめ、ドライブ上の専用フォルダおよび鍵付き書庫を完備し、適切な管理を徹底している																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●	・ASC認証継続にあたり、関係各所と定期的な認識共有の場を設け、共に管理を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・部分的ではあるが、生産国の労働環境や適正取引価格であることがトレースされた原料由来の飼料を調達し、使用している	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・当該内容が含まれているグループ行動指針の掲示、社内研修（ハラスメント研修）で周知している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・新就労管理システムを導入することにより、長時間労働や、有給休暇未消化を見える化（エラー表示）することで、労務改善を促している			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・1回/月の安全衛生委員会を開催し、場内危険箇所への対策をはじめ労働安全について産業医を交えて議論する場としている			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・個人の能力、適性、希望を鑑み人員配置を行っている ・定年後再雇用制度およびシニア社員制度を導入し、労働意欲に応えられる環境を整えている				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・役職に応じた社内外の研修や、必要資格の取得支援（全額補助）を実施している				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社マルハニチロAQUA　奄美事業所　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿って適切に対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・定期健康診断および高気圧検診、メンタルヘルスチェックの費用負担を実施している			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・本社DX推進担当と協業し、各種作業へのAI導入を進めている ・従業員のテレワーク環境を整え、必要に応じ在宅勤務を認めている								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●				3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・自社で排出する廃棄物や有害物質は、廃棄物処理業者に委託し適切に処理している			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		・自社の燃油や電力使用量を把握し、その削減とクリーンエネルギーへの代替を検討している							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		・照明や空調、廃棄物の量を必要最小限に抑える努力をしている ・自社で使用するエネルギー使用量から温室効果ガスの排出量を算出し、その削減に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・再生用紙利用を推進している ・水産加工残渣の餌料への転換を積極的に進めている									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・過剰給餌にならないよう、給餌後の潜水確認で適正給餌量を把握している ・定期的に海底検査を行い、環境負荷をかけてないか確認している						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙利用を推進している ・水産加工残渣の餌料への転換を積極的に進めている ・生ごみを処理し、堆肥として再利用している						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●	・水道の使用量を把握するとともに、浄水槽を定期的に清掃している ・水道水および海水の水質チェックを定期的に行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・養殖魚残渣（内臓等）の食品加工開発を進めている ・完全受注出荷により、過剰生産を抑制している	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	・ASCおよびEU HACCPを取得し、環境負荷軽減に努めている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	・養殖事業としてTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）およびTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づくシナリオ分析を実施し、ホームページ上で公開している（2024年9月）												12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・船舶用旧式エンジンや、冷凍・冷蔵・冷房設備の新型への交換を進め、エネルギー効率の向上に寄与している ・電動フォークリフトの導入を進めている							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・餌料用魚種の資源量圧迫抑制のため、水産加工残渣の餌料への活用や、配合飼料化に取り組んでいる ・人工孵化種苗導入により、天然資源負荷の軽減に努めている												12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●							6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　株式会社マルハニチロAQUA　奄美事業所　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	・発泡スチロール製フロートの撤廃（耐久フロートへの交換）により、海洋プラスチックの流出を抑制している ・定期的に漁場周辺の海岸清掃を実施している												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・養殖魚の一貫したトレーサビリティ構築のため、全漁場共通のシステムで管理している ・外部機関へ肉質分析を依頼し、安全性と品質を確認している			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・男女別トイレやAEDの設置により、誰もが駆け込めるように整備している ・各種荷役機器や機械を配置し、従業員の労務負荷軽減に努めている									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・未利用部位を使用した商品開発を進めている ・食糧危機に備えるため、人工孵化由来魚を含めた養殖魚の生産・輸出を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・漁場周辺の海岸を定期的に清掃している ・地域で開催される行事への参加や、養殖魚の提供を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	・中・高校生および大学生の職場体験・インターンシップを積極的に受け入れている ・地元小学校への出前授業を実施している				4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・鹿児島県内出身者のUターン就職を受け入れている ・ハローワークや地元高校へ募集案内を行っている				4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	・離島（奄美大島）での雇用創出に寄与している		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	・本社や他漁場との人材交流を積極的に行っている ・他県への就職説明会に参加し、自社および県（島）の魅力発信に取り組んでいる								8			11	12			15		17